

塔中の怪(三)

無名氏

私は今現に、此船頭は長面を見詰めた。此一言私
岡大探偵であるを知りつゝは忽ち電氣に打たれたかの
も、未だ長岡だとは信ぜられぬ程だ。長岡は元來威風凛々たる美丈夫であるの
に、大たん眞は何とてか、此船頭の恰好の醜き事は
色は黒銅色で、鼻は獅子ツ鼻で、眼の眞丸な、くちび
の厚い、それは、奇怪な風體、之がまアどうして
長岡大探偵だらうと思ふと、不審で堪らぬ、キョロ
しながら一心に彼の面を見つめてゐると、船頭に化け
たる長岡大探偵はまた私のびつくりして居る顔のおか
しい爲めか、ほの邊にかすかな笑みをうかべて「武
田君、まだ分らぬか、此の顔が」と言ひつゝ、其の
眞つ黒な顔を一なでなでると、忽ち見る、今迄の恰好
の悪い鼻や、キョロりとした眼や、厚いくちびるなど
は何處へか消えてしまつて、あらつと思ふ間に、大探偵
長岡武太郎の生れつきなる凛んとした勇ましき顔にか
へつた「やア、驚いた」とまアどうしたんだらう」と
私は思はず叫ぶと、長岡大探偵は聲高く笑ひながら、
今度は二度三度其身をゆすぶると、船頭の變裝せる黒
んぼの醜き姿は、何時の間にかせうしやなる紳士の服
装に變つて、彼は一歩進み寄り、私の手をにぎつたが
「武田探偵君」と沈痛なる聲をもつて、じつと私の

西洋料理

電話四六〇番

彼に向つた。「大たん眞！先づ承る、薄命なる雪子姫の運命は……さても其後、君の盡力によつて、たん眞の道は何處まで進んだのかね。」長岡大たん眞はまじろげもせず、聲をひそめて「姫は未だ無事だよ、して兎賊は、かねて僕の鑑定通り、世にかくれなき、半ば人間、半ば猛獸なる、魔術の大海賊に相違なかつた。」

特賣！
たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領
花春 同優等賞受領
鹽屋最上醬油釀造元

山崎合名會社
平町土橋 電話一〇番二七番
東京支店 電話下谷五七二番

緊縮と輸入防濁
純國産品で正確堅牢なるセイコー腕時計を皆様に切にお薦め致します

宣傳の爲め抽籤特賣
一等 復興債券(額面百圓) 六十本
二等 蓄音器(市價七十五圓) 二百二十本
三等 置時計(市價廿五圓) 三百本
四等 目覺時計(市價十圓) 五百本
五等 机上時計(市價五圓) 一千本
期日 十一月三十日まで 空籤なし
平町三丁目

大谷時計病院
特約店 電話十九番

冬學生服
是非レコめな
冬服は小黒い
自地生小黒い
信縫裁す
持共す
でやかなも服冬非是
お申に共す
分申に共す
中學校制服
平二丁目
あかや洋服店
電話二〇五番

世の婦人藥王
責任無効返金
BISHINGAN
美神丸
此の有名な美神丸を、夫婦仲のよくなる美神丸を數ヶ年に亘る悪性の子宮病に悩む人を研究臺として發明したる理想的藥劑
主婦之友、婦人俱樂部、婦女界、婦人世界等有名四大雜誌に効果が發表になつてあります
定價一週分四十錢 十週分參圓五拾錢
平町古鍛冶町(縣社ノ下)

阿康藥店
地方代理店 電話四四番

洋食イフキ食堂
電話四六〇番

外科一般(入院隨意)
内臓外科専門
花柳病科
平町六丁目(橋際)
木村科外醫院
電話三〇九番

平町田町
高久病院
電話五二一三番
内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
醫學士 高久 忠
醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内外果實問屋
藤居商店
平町三丁目 電話五四三番

株式債券現物賣買
駒場株式店
平町田町 電話四六五
店主 駒場 四郎

冬の大賣出
御婚禮用品各種
丸帶、江戸襷、訪問着
御召、錦紗小紋、袴地
防寒用品各種
レデーコート地、ジヨール、羅紗オーバー、既成コート、
新製ベビー用品陳列
ベビー洋服、メリヤス肌着、袖ナシ、男女初着、パンツ、各種

時計の御用は一直線に
ダイヤヤ堂へ
確實…迅速…親切…廉價！
時計、眼鏡、蓄音機、貴金屬
ピクチャーレコード特約店
ダイヤヤ堂 鈴木時計店
福島縣平野前(新道)
電話(呼)八〇五番